

1 事業概要

事務事業名		重症心身障害児通園事業		課名	子育て支援課	事業No.	112
				会計	一般会計		
				事業区分	政策	実施区分	継続
				開始	H19	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称			
	戦略計画						
	分野別計画			地域福祉計画			
法令・例規等			児童福祉法				
			障がい者総合支援法				
事業目的	対象	重症心身障害児とその保護者					
	意図	健康状態に合わせた通園をし、個々の機能訓練や家庭外での活動・体験の場を広げ発達を支援します。					

2 事業内容

30年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)	
	重症心身障害児の個々に対する必要な支援を把握し、リハビリに係る専門的技術を活かした実践を行いました。 保護者の思いに寄り添い、傾聴し、個々の成長を促すとともに、通所生活の意義と喜びを感じられるよう、専門的な療育を提供しました。 重症心身障害児に係る職員研修を継続しました。		臨時職員賃金				7,827	
			光熱水費				1,055	
		その他の経費				850		
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成28年度 実績	平成29年度 実績	平成30年度 実績	令和元年度	令和2年度	
	登録者数	人	5	7	8			
	延べ利用人数	人	187	243	246			
30年度 決算 (千円)	予算額	10,753	特定財源内訳及び補足事項					
	決算額	9,732	(そ) 児童発達支援給付費負担金 8,033千円					
	財源の 状況	国庫支出金	0	(そ) 諸収入 1,132千円				
		県支出金	0					
		地方債	0					
		その他	9,165					
	一般財源	567						

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	3	2	4	14	1	10,753	9,732	重症心身障害児通園事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		保護者の職員に対する専門的な指導ニーズが高まっています。 医療的ケアを要するなど重篤な児童が増えており、医療機関との密な連携が求められています。 医療的ケア児への支援について、送迎ができないなど登園日数が増やせない親子への支援を考えていく必要があります。							
上記の課題解決のための有効策		職員の資質向上を図るため、研修の場を確保し繰り返し実践することが大切です。 医療的ケア児等コーディネーターと担任の連携による実践が、当該親子や家族への支援に繋がります。							
次年度に向けての取り組み		登園困難な児童について、居宅訪問型事業を定着させ、多職種で協力して訪問療育の充実を図ります。 引き続き、医療的ケア児等コーディネーターと担任の連携によるケアを実践します。							